

6. 北陸（地域別調査機関：一般財団法人北陸経済研究所）

（-：回答が存在しない、：主だった回答等が存在しない）

分野	景気の現状判断	業種・職種	判断の理由	追加説明及び具体的状況の説明
家計 動向 関連 (北陸)	良く なっている	タクシー運転手	来客数の動き	・景気が少し上向きになっている点と、北陸新幹線開業効果によるものなのか、近年になく忘年会が盛況に多く開かれている。それによりタクシー利用も多く、昨年はよく言われた暇という言葉がなく、今ではそれが禁句になっている状況である。
		一般小売店〔鮮魚〕（従業員）	販売量の動き	・ズワイガニを筆頭に年末年始の商材の売行きは例年を上回っている。
	やや良く なっている	百貨店（営業担当）	販売量の動き	・先月落ち込んでいた分、今月は想定通りに推移している。優待が始まる12月半ばごろから年末ということもあって人の動きも多く、観光客や地元客の来客数も多い。気温も急激に下がり、婦人服もコートや冬物商材が動き出し、好調に推移している。
		乗用車販売店（役員）	来客数の動き	・12月に入って新型車の記者発表もあり、土日のイベントも行われたので来客数も多くなり、商談の引き合いも増加している。ただメーカーからの配車の関係もあり、年内の売上には影響がなく1～3月に持ち込まれるようだ。
		乗用車販売店（経理担当）	販売量の動き	・12月の販売量は前年同月比140%である。9月の販売量は前年同月比79%なので、3か月前と比較して上向きである。
		一般レストラン（店長）	来客数の動き	・11月、12月と昨年の水準より良い気がする。
		スナック（経営者）	来客数の動き	・当店は前年同月とほぼ同じ売上となり、なんとかといった具合だった。週末の繁華街は若い人たちが出ていたが、客の洋装店経営者などは冬物が売れず、昨年よりも大変厳しいと言っている。
		通信会社（役員）	販売量の動き	・引き続き、光サービス（FTTH）の引き合いや契約が好調である。特に通信サービスが好調である。
		住宅販売会社（従業員）	販売量の動き	・相変わらず他社との競争は激しいが、住宅の購入を検討している人はいる。受注量が多い月と少ない月があり、安定しない。
	変わらない	商店街（代表者）	販売量の動き	・当商店街の12月の状況は、通りの通行量、各店舗の売上は、特別な変化はなくほぼ例年並みだと思う。ただ、今年は暖冬であり、衣料品の販売が若干少なくなっていると思う。
		一般小売店〔精肉〕（店長）	販売量の動き	・来客数は少なくなったようには感じないのだが、ギフトの売上金額が伸び悩んでいる。それにより、売上がそれほど増加していない。
		一般小売店〔事務用品〕（店員）	販売量の動き	・マイナンバー関連商品の動きがあまりなく、少し期待外れである。
		一般小売店〔書籍〕（従業員）	単価の動き	・昨年に比べ、来客数はそれほど変わらないが、客単価は落ちている。
		スーパー（店長）	単価の動き	・今年の年末販売状況をみていると、暖冬の影響もあり、年末商材の動きは良くない。歳暮需要も例年同様の買物のしかたであると思う。
スーパー（総務担当）		来客数の動き	・今年の12月は積雪がなかったため、食品の客数は前年を上回っているが客単価が下がり、ほぼ前年並みの売上になっている。衣料品では防寒衣料が全く売れないため苦戦している。	
スーパー（総務担当）		販売量の動き	・一部地区で競争が激化しているものの、全体としての販売量、買上点数は昨年をやや上回る状況が続いている。	
コンビニ（経営者）		販売量の動き	・来客数は増えているが、客単価の減少が続いている。12月は、おせちやクリスマスケーキなど、単価の高い商材の販売量が落ちている。逆に、コーヒーや単品買いの客は増えており、前年同月比は維持しているものの、伸びているという印象はない。	
コンビニ（経営者）		販売量の動き	・同業者の3大チェーンがそろい踏みした時点で落ち込んだ売上は、回復することなく低い数字で安定している。	
乗用車販売店（従業員）		販売量の動き	・気温も下がり、なかなか客足が伸びない。新車、中古車共に計画を下回っている。	
自動車備品販売店（従業員）	単価の動き	・天候の影響も大きいですが、スタッドレスタイヤの動きが前年から大きく下回り、単価も下落している。客が性能より安価な商品を希望する傾向が前期より強く、少しでも出費を抑えたいとの声も聞かれる。		

住関連専門店 (店員)	販売量の動き	・ 商圈範囲にオープンした大型商業施設への流れも一旦落ち着き、来客数に関しては回復傾向にある。しかし、単価に大きな伸びは見られず、販売量に関しても例年と変わらない。	
その他小売 [ショッピング センター]	来客数の動き	・ 買上客数の前年割れが続いている。また、食料品を中心に相場高や特売品も含めた商品単価の値上げが続いており、買上単価は前年を超えている。	
高級レストラン (スタッフ)	販売量の動き	・ 北陸新幹線開業後は順調に来客数が増加している。例年、12月の昼は団体旅行による会食が激減するが、今年は12月中旬まで県外の団体客利用があり、夜の地元企業による忘年会利用も例年よりにぎわいをみせた。	
一般レストラン (統括)	お客様の様子	・ 売上高、来客数は前年を超える結果だが、客が増えてきた、減ってきたという実感が現場では感じない。暖冬のためか、何となく客の動きが鈍いように感じる。	
観光型旅館(経 営者)	販売量の動き	・ 入込人員は前年比ほぼ同率だが、売上は約5～8%ほど上昇している。	
観光型旅館(ス タッフ)	来客数の動き	・ 前年比総売上112%、宿泊人数104%、宿泊単価106%、客室稼働96%であった。低価格宿泊施設の全体でのシェアは低下しており、客室コントロールができた結果といえる。また、団体及び個人とも宿泊単価は前年比1900円アップしている。	
都市型ホテル (役員)	販売量の動き	・ 宿泊部門は、北陸新幹線開業以降、ビジネス客、観光客及びインバウンドの増加により堅調に推移している。今後においては、国内団体旅行の減少による落ち込みが若干懸念されるが、大会の増加などにより今後も同傾向が続くと予想される。ただ、レストラン及び宴会部門においては足踏み状態にある。	
旅行代理店(所 長)	販売量の動き	・ 前月に引き続き、契約ベ-スでは前年と変わらない。	
通信会社(役 員)	販売量の動き	・ 12月に入り契約獲得数の伸びが例年に比べて低く、ネット回線の長期契約開始マインドがやや弱くなっているように感じる。	
テーマパーク (職員)	来客数の動き	・ 3か月前と比較して前年同期比でみると、団体客の動きはやや鈍いものの、特に12月は天候が良かったために個人の来客数が増加し、全体としては前年並みで推移した。	
その他レジャー 施設(職員)	来客数の動き	・ 世の中では、賞与が出たとか公務員が民間に合わせて増額したと言っているが、そんな感覚は全くない。みんな節約志向が身についてしまった感があり、健康関連の支出についてさえ出費は控えめである。	
住宅販売会社 (従業員)	お客様の様子	・ 情報量はそこそこ確保できているものの、消費税増税実施を控え、過去に経験した前倒し受注、駆け込み受注の動きがあまりみられない。完工工期や日程を考慮した場合、心配である。	
住宅販売会社 (従業員)	お客様の様子	・ 展示会を開催しても、思った以上に客の動きに変化がみられないと感じた。	
やや悪く なっている	商店街(代表 者)	販売量の動き	・ プレセールを実施しているが、全般的に販売量が落ちている。アウトレットモールが早くからセールをしている影響だろうか。
	商店街(代表 者)	お客様の様子	・ 例年に比べて暖かい日が続く、衣料品では完全に冬物売る時期を逸してしまった感じがある。年明けのバーゲンを前倒しして割引を実施している店も多いが、客の反応はイマイチである。2割引程度では購買意欲がわかないようになってしまった。
	百貨店(売場主 任)	販売量の動き	・ 大型商業施設が相次いで新規開業して初の歳末商戦を迎えたが、11月に続いて気温が高めに推移しており、コート、マフラー、手袋、ブーツなど防寒商材の動きが鈍い。絵画や高級インポートウオッチなどの高額品については好調に推移しているため、売上全般については、前年実績超えで推移している。
	百貨店(営業担 当)	競争相手の様子	・ 暖冬のせいもあるが、ブーツやコートといった防寒具、羽毛布団や毛布といった寝具など、どちらかといえば単価が上がるものについて、客は今年は買わないでおこうというような傾向が出ている。冬物衣料、防寒関係が苦戦しているため、全体的にはやや悪い状態が続いている。
	百貨店(営業担 当)	単価の動き	・ 足場は大変良いが、天候の影響で冬物衣料のコートの動きが全くといっていいほど止まっている。

	コンビニ（店長）	それ以外	・前年比売上が下がっているのは数か月間の情勢からみて不自然ではないのだが、年末に向けても来客数減が止まらない。外的要因としては、5キロほど離れた店舗の改装があった程度である。売上よりも景気悪化を感じるのは人手不足で、求人費の増加、時給などの相場上昇により、人件費に跳ね返り負担が急増している。売上があったとしても経費が人件費などの上昇で前年比30%程度増加しており、経営そのものを見直すなくてはならない状況になりつつある。	
	コンビニ（店舗管理）	単価の動き	・プレミアム付商品券まっさかりであった時期から、客単価は大幅に下がった。	
	衣料品専門店（経営者）	来客数の動き	・1年を締めくくる12月であるが、日によって集客にばらつきがあり、もう一つ盛り上がらなかった。	
	衣料品専門店（経営者）	お客様の様子	・今年はエルニーニョ現象の影響もあり暖冬で、コートなどの冬物商材の動きが悪い。前年並みを確保するのは、なかなか厳しい。	
	衣料品専門店（経営者）	来客数の動き	・当店の12月の状況は悪く、尻すぼみで1年が終わる。1～2月にも期待はできない。消費者の立場としては、物価は上がらなかったし、この冬は雪が少ないようだし、家族全員が協力して今までのようにやりましようねというところではないか。	
	乗用車販売店（経営者）	お客様の様子	・ボーナス月であったが買換えが全く進まない。商談の長期化で、客が支出に対して慎重な様子を感じる。	
	その他専門店〔酒〕（経営者）	販売量の動き	・お歳暮の高級な酒や神社仏閣へ持参する酒は前年同様の数字を残しているが、ビールや焼酎などの売上が前年と比較して、はるかに悪い。全体的な売上としては前年と比較して20%程度落ち込んでいるといった状況である。	
	その他小売〔ショッピングセンター〕（統括）	販売量の動き	・暖冬の影響で、冬物衣料や防寒関連の販売額が前年と比較して大きくダウンしている。	
	都市型ホテル（スタッフ）	販売量の動き	・北陸新幹線開業効果で3月から順調だった宿泊客数だが、12月に入って急に伸び率が鈍化してきた。クリスマスケーキは10%減少した。おせち料理は4～5人用より2人用が売れており前年並みである。	
	タクシー運転手	販売量の動き	・12月に入り、観光客がいなくなったような感じがする。これまで東京からの観光客頼みだったのかなと反省している。	
	通信会社（営業担当）	販売量の動き	・全体的に購入を希望して来店する客が減ってきた。新商品販売についても落ち着き、故障やプラン変更の客が増えている。	
	美容室（経営者）	来客数の動き	・美容業界は夏以降に来客数が大きく落ち込んできていると、同業者間で話題になっている。	
	住宅販売会社（従業員）	販売量の動き	・例年、12月は年内入居を希望する客があるが、今年はなかった。イベント来場数も少なくなっており、今後の受注見込みも立たなくなっている。また、高級路線の新商品の売行きも芳しくない。	
	悪くなっている	-	-	
企業動向関連（北陸）	良くなっている	-	-	
	やや良くなっている	司法書士	取引先の様子	・観光関連、飲食業関連の客から聞いたところでは、北陸新幹線効果が持続しているのか客数が増えているという話である。
	変わらない	食料品製造業（役員）	それ以外	・受注量、販売単価については横ばいにて推移しているが、輸入原材料の価格高騰がじわりじわりと収益に影響を与えている。為替の関係からの価格高騰が理由で原材料価格は高止まりが続いている状況である。
		繊維工業（経営者）	受注量や販売量の動き	・アメリカ向けのスポーツ素材の輸出を除き、受注については不安定な状況が続いている。
		精密機械器具製造業（経営者）	受注量や販売量の動き	・例年であれば在庫調整で生産量が幾分少なくなる時期であるが、今年の場合は年末に向けてほとんど生産量は変わらなかった。とはいえ、市況としてはさほど力強さは感じない。
		建設業（経営者）	受注量や販売量の動き	・この3か月間は年末工期の工事の完成に向けてかなり忙しい日々が続いたが、12月は例年に比べて手待ち工事が少なく、例年ほどの忙しさではなかった。
		建設業（総務担当）	受注価格や販売価格の動き	・大都市圏以外の地域では、工事発注量の減少傾向がみられ、受注価格競争が徐々に激化してきている。

	金融業（融資担当）	取引先の様子	・設備投資の一巡感が見られるとともに、不動産、建築コスト、人件費などコストアップ要因がみられ、投資妙味が薄れてきているように感じる。
	不動産業（経営者）	受注量や販売量の動き	・同業者に聞いたのだが、法人関係の動きが二極化している状況という話が多かった。
	税理士（所長）	取引先の様子	・製造業の客については、特に工作機械関係で中国への輸出関係にキャンセルが多くなってきているようである。その後、アメリカや東南アジア方向に軌道シフトを調整中の段階であり、徐々に出口が見えているのではないかという感じがする。当県に関しては、徐々に北陸新幹線で当地に降りる人が増えているようである。観光関係も新幹線効果が当初よりもより強くなって、明るさが増している気がする。ただ、給与が低いので個人消費が厳しいということで、小売業関係は厳しい。
やや悪くなっている	一般機械器具製造業（総務担当）	受注量や販売量の動き	・欧州、米国、日本市場とも機械受注量が落ちた。
	輸送業（配車担当）	受注量や販売量の動き	・中国の景気動向が悪いことで、建設機械、工作機械の輸出が悪化しているため、荷物の動きが悪くなっている。
	金融業（融資担当）	受注量や販売量の動き	・暖冬で冬物の売上が不振である。観光客も12月に入り動きが悪いと、取引先からのヒアリングの際に聞いた。
悪くなっている	-	-	-
雇用関連	-	-	-
(北陸)	新聞社〔求人広告〕（役員）	求人数の動き	・12月の求人広告売上は、前年同月比150%を若干超えた。ただこれは、年末の求人特集という企画をやった伸びたものである。そこを少し割り引いても、やや景気は上向きで良いということになると思う。
やや良くなっている	職業安定所（職員）	求人数の動き	・5月以降、前年同月比マイナスであった新規求人が11月はプラスに転じた。
	職業安定所（職員）	求人数の動き	・有効求人倍率が1.60倍と、非常に高い水準で推移している。また、製造業、サービス業などの求人が伸びている。
	学校〔大学〕（就職担当）	求人数の動き	・今年度の求人活動は多くの企業で終了しているが、中小企業を中心にまだ問い合わせが続いている。また、11月中旬から次年度の求人票が出てきており、出足は昨年より早くなっている。求人票が出てきた企業数は昨年の同時期の1.5倍になっている。業種的には製造業、ITが中心であるが、今まで見られなかった金融業、介護サービス業も見受けられる。
変わらない	人材派遣会社（役員）	求職者数の動き	・県内の有効求人倍率は高い状況が続いているが、登録者の確保が困難で、成約に至らない。
	人材派遣会社（社員）	求職者数の動き	・年末年始の短期、単発の求人募集をしても、応募者の質の低下や、マッチングがうまくいかず、良い結果につながらないことが少なくなかった。
	新聞社〔求人広告〕（担当者）	求人数の動き	・12月の求人広告について、昨年比で件数は70%、金額では60%程度にとどまった。今年の中盤まで続いていた上昇基調はここ数か月で完全に止まった様子である。不必要ということではなく、ある程度求人にも充足感が出ているので、景気全体でみた場合は悪い要素も特にないと考える。
	職業安定所（職員）	求人数の動き	・最近の求人数の変動があまりない状況であることから、大きな変動はないと思われる。
やや悪くなっている	求人情報誌制作会社（編集者）	求人数の動き	・3か月前に比べ、発行1回当たりの掲載件数が50件ほど減った。
	民間職業紹介機関（経営者）	求職者数の動き	・労働者派遣、人材紹介共に登録者が少なく、求職者の確保に苦戦している。最近のハローワークでの求職者人数自体も、少ないようにみえる。
悪くなっている	-	-	-